

CONTENTS

## 特集●福祉型労働運動の展開と創造に向けて

- 2 **福祉型労働運動を考える**  
JP 総合研究所 所長 米田 勇逸
- 4 **郵便局と福祉について**  
— 福祉型労働運動とさわやか福祉財団の事業 —  
(財)さわやか福祉財団 理事 丹 直秀
- 12 **NPO法人等の取り組み事例**  
うちの実家(新潟県・新潟市) / ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC / 大阪市) / 流山ユー・アイネット(千葉県・流山市) / まごころサービス福島センター(福島県・福島市)
- 16 **この人に聞く 地域に顔の見える運動展開を**  
連合(日本労働組合総連合会) 会長 古賀 伸明氏
- 22 **連合派遣を終えて — 10年間の労働法制を振り返る —**  
連合 参与 長谷川 裕子
- 30 **働くことが得になる社会へ**  
独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)  
労使関係・労使コミュニケーション部門 統括研究員 濱口 桂一郎
- 38 **ワーク・ライフ・バランスの現状とあるべき姿**  
同志社大学 政策学部 教授 川口 章
- 44 **郵便ネットワークの開放 — 競争とユニバーサルサービスの確保 —**  
慶應義塾大学院博士課程 角田 有衣子
- 52 **政策研究フォーラム 海外調査団報告「ハンガリー・チェコ」**  
**困難を乗り越えつつも課題山積**  
JP 労組 中央副執行委員長 白杵 博
- 60 **国際労働運動リポート[5]**  
**“蟻族” — 中国で大卒・低収入・集団居住者が出現 —**  
在中国日本国大使館 経済部 大崎佳奈子
- 68 **コラム KiRi 坊のひとり相撲[8]** JP 総合研究所 副所長 桐谷 光男
- 69 **データ・ダイジェスト**
- 70 **中執による Book & Cinema Review**
- 72 **編集後記**

●表紙: JP 労組愛媛南予支部主催の「ポストのある風景」  
フォトコンテスト\* 第16回(2009年)入賞作品。

\* 1993年、全通愛媛大洲支部時代から毎年1回開催。  
組合員のみならず広く一般の方からの応募も受けつ  
けている。